

教育委員会こども教育課長（山本 修君）

加害、被害の保護者の方が全員集まる前に、事前に学校でそれぞれの保護者の方に、この事案について説明を個々に行っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

笠原議員。

2番（笠原幸江君）

終わりになりますけれども、創生クラブで10月、熊本県家庭支援条例の取り組みを学ばせていただきました。その際に、熊本家庭支援条例を取り組んだ結果として、学力の向上と家庭の意識改革も確実に進んでいると確認されております。ぜひ、糸魚川市でも、それらのことを鑑み、糸魚川市家庭支援条例の取り組みを、今から研究していただきたいんですけども、市長、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり、この糸魚川市内の子供、非常に私は大切に捉えていきたいと思っておる次第でございます。そのあらわれが、0歳から18歳という形で進めていきたいということでございます。

そういう中で、今、ご指摘のように、非常に効果のある指導というのがあるというのを、聞かせていただきました。非常に、学校教育は当然であるわけであります。そういう中において、地域教育・家庭教育というのもバランスよく進めていくことが、やはり一番、子供たちにとっていいことだろうと思う次第でございますので、できればそういう、非常に先進事例をしっかりと学びながら糸魚川の教育に、また子供たちを育てていく中に取り込んでいければと思っております。ありがとうございました。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

笠原議員。

2番（笠原幸江君）

ありがとうございました。これで、私の一般質問を終わります。

議長（倉又 稔君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。〔1番 吉川慶一君登壇〕

1番（吉川慶一君）

おはようございます。

創生クラブ、吉川慶一でございます。

1回目の質問をお願いします。

#### 1、糸魚川市沿岸海域の変化と状況について

当市においては、農業・林業及び水産業は大切な産業であることに異論のないところでありますが、いずれの分野においても、それぞれさまざまな問題を抱えておるのが現状かと受けとめております。

「山を育てるには、海を育てる。」と、このような言葉を間々に耳にしますが、この3者の間に、お互いに深いかわり合いがあることを意味するものと思っております。

最近、浜辺へ行くと、糸魚川の沿岸海域に異変が出てきていると、心配をする声を耳にすることがあります。この変化について、行政は、その実態をどの程度に把握しておられるのでしょうか。また、それに対する何らかの対応策をお考えでしょうか。極めて重要なことと思われるのでお伺いします。

- (1) 農業・林業・水産業の現状と政策についてどうですか。
- (2) 特に、水産業で新しい施策のお考えはありますか。
- (3) 沿岸表層の海水が疲弊してきています。山・河川・海・山林の現状に問題があると思いません。現状についてお伺いします。
- (4) 陸・海を一体化した大型ジオラマが必要と思いますが、お考えを伺います。

#### 2、北陸新幹線開業とその後の影響について

昨年3月に、長年にわたる念願の北陸新幹線が開業しました。市民及び経済界ともに、喜びに沸きましたが、果たして地域に影響・上昇変化があらわれたのでしょうか。

駅舎は近代化され、利便性がよくなり、特に、ジオステーションのキハ52の展示等で糸魚川市の魅力があらわれています。

建物の面は素晴らしいですが、接客の面もどうでしょうか。今後、観光都市を目指すために、次のことについてお伺いします。

- (1) 新幹線が開業し、市内の商業はどのように変わりましたか。1年間のアンケート調査結果は、まとまりましたか。
- (2) 開業時のイベントと開業1年後のイベントを主催し、商工会議所・観光協会・商店街(団体)はどのように観光の企画・連携をされましたか。また、糸魚川のおもてなしの企画は、どこが主体となって企画されていますか。
- (3) まちづくりは、町の人々と一緒に協力して盛り上げていかなければならないと考えますが、この企画によって経済効果はどのようにあらわれていますか。
- (4) 糸魚川ジオパークは、長い歳月をかけて宣伝し実行しています。行政が主体となっていると思いますが、コンサルタント業者に任せたらどうですか。

以上、1回目の質問といたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(倉又 稔君)

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長(米田 徹君)

吉川議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、農薬と化学肥料の軽減による環境への負荷軽減、森林整備による水資源の保全、種苗放流等による水産資源の適正管理に努めております。

2点目につきましては、水産資源の保全と水産業の振興を図るため、林業・農業とも連携をし、海洋環境の保全に努めてまいります。

3点目につきましては、現時点で科学的データによる裏づけはないと思っておりますが、山・川・海は密接に関連をいたしており、環境への影響も懸念いたしております。

4点目につきましては、海底の地形も魅力とするところであるわけではありますが、今のところ、海・山を一体化したジオラマについては考えておりません。

2番目の1点目につきましては、糸魚川経済団体連絡協議会が、昨年行った前期の景況アンケート調査では、開業の効果があらわれているとは言えない状況となっており、後期の景況調査に期待をいたしているところであります。

2点目に商工会議所・観光協会・商店街とともに、各地区代表者の参加した実行委員会を組織をいたしております。市民と一体となって、より多くのお客様からお越しいただけるような企画を実施いたしております。

3点目につきましては、昨年11月に行われました糸魚川バル街においても、町と人が一体となって盛り上げ、経済的な効果も出たものと思っております。

4点目につきましては、糸魚川ジオパークの活動は行政をはじめ、市議会や市民団体など各種団体で組織をする糸魚川ジオパーク協議会が主体であり、今後もコンサルに任せるのではなくて、協議会が主体となって活動を推進してまいりたいと思っております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もごさいますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ありがとうございます。2回目の質問をさせていただきます。

これからの質問は、海洋研究をされてる先生のお言葉、海洋高校のホームページ等で参考にさせていただいて、ご質問いたします。

近年、いそ焼けがひどく、これまで鬱蒼と繁茂していた海藻がほとんど姿を消し、岩場が裸同然の状態になっております。昔から、海藻の繁茂している藻場は魚類の産卵・稚魚の隠れ家・すみかであり、海の揺りかごとして大切に保護されてきました。この海の揺りかごとが失われるということは、資源の減少・消滅、こういう意味があり、漁業者にとっては死活問題です。当市にとりましても、大変大きな損失をこうむることになりかねません。

そこでお伺いしますが、この状態を調査したことがありますか、ご質問いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

お答えいたします。

市のほうとして、調査をしたことはございません。

いそ焼けにつきましても、以前に私も市内の一部の沿岸で見られたというお話は聞いたことがありますけども、回復してきているというお話もお聞きしているところでございます。

また、今、海藻のお話が、議員のほうからお話がありましたけども、海洋高校では、真昆布を栽培するなどして、水産資源の保護に努めているということもお聞きしておりますので、これからも海洋資源の保全・保護を進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

海洋高校が、生徒が一生懸命、資源開発に取り組んでいることに敬意をあらわしますが、やはり一旦消滅したものを、また復旧するまでには相当の年月がかかるんじゃないかと思っております。もう少し、早いスピードで取り組んでいかないと、このままではどんどん消滅危険が出てくるということですので、ぜひ、そういうことにお力を、いま一度予算措置をしていただいて、資源開発に進めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

お話のようなご提案につきましては、今後、新潟県の水産資源研究所もございまして、そちらのほうからのアドバイスもまた受けながら、また県のお力もかりながら進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

よろしく願いいたします。

続きまして、同じくですが、やはり真昆布等はよろしいんですが、実はもっと身近な、先ほどのように漁獲の問題ですが、沿岸海域に回遊するイワシ、アジ、サバ、フクラギなどの青魚の回遊魚の急激な減少も、あわせて目立っております。魚体の小型化・瘦身・奇形、味の喪失等が顕著で、典型的な栄養失調状態をしておりとお聞きしております。

沿岸海域における激減の要因は、この植物性プランクトンが原因しているんじゃないか、こう言われております。これには、無機肥料になるまでさかのぼると、こういうことをお聞きします。

当市には、幾筋の河川が存在しますが、海域は河川を除いて短小で狭隘という特色があります。沿岸海域の表層部分が、海水と河川水の比重の差の関係で無機肥料が運ばれてきて、植物性プランクトンの育成・繁栄に最適な場を提供されておりますが、無機肥料の供給源が減少しているのでは

ないかと言われます。沿岸海域に大きなダメージを与えるおそれがあります。そこで、この実態調査、効果的に対策が必要と思われませんが、これについてどうでしょうか、ご意見を伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

魚種でいいますと、10年前にとれなかった魚種がとれるようになったり、あるいは魚種によつての漁獲の量がふえたり減ったりという状況は、漁協からのデータで承知はしております。食物連鎖というお話もございませぬども、森で養われる豊かな滋養分が、水を通しまして海に流れ込み、海の豊かさとなって海の生き物を育てるといふふうな流れは、議員冒頭の質問の中にもございましたとおりでございます。海の環境を考えると、山や河川の環境を抜きには考えられないと認識しております。森林、または農地の多面的機能の発揮のためにも、今後しっかりと、森林の管理・整備、耕作放棄地の拡大防止などに取り組んでまいりたいといふふうにご存じます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

さらにお聞きしますが、先ほど小魚、いろいろ魚も漁獲が変わってきたとおっしゃいましたが、現在の漁獲高の変化、近年の状況を教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

漁獲の量で言いますと、上越漁協・青海漁協あわせてでありますけれども、平成17年度では3,100トンの漁獲の量がございました。平成26年データでは2,900トンでありますので、約200トン漁獲の量が減っていると。それから水揚げ高、金額でございますけれども、平成17年には18億4,000万円あったものが、平成26年では14億5,000万円に減ってきております。約3億5,000万円ほどの水揚げ高が減ってきておるところでございます。

今、魚種の関係でご紹介いただきましたけれども、特に顕著なのが、10年前まではサワラが糸魚川ではなかなかとれなかったものが、最近では、新潟県内でトップになるほどの漁獲の量が出ておるといふことで、お聞きしております。それから、ニギスは量が減ってきている、逆にカレイなどはふえてきているといふふうなお話もお聞きしておりますので、海洋の環境と漁獲の量と魚種の影響がどのようになってきているかといふところは、原因はよくわかっておりませぬども、そのような変化は承知しておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

年々、漁獲が変わってきておる、また収入も減になってきておると思います。やはり、農業・漁業・林業これらをぜひ、糸魚川の自然に合わせたもので、ひとつ環境もそうですが、生活面においても必要不可欠と私は思っておりますので、ぜひともこれにも目を向けていただきたいと思いますと思っております。

そこで、先ほどお話をいたしましたように、林業の面でちょっとお伺いしますが、林業もやはり非常に大事なことであります、食物連鎖から言っても。山に植林を、最近進めておるといふところがございませうでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

市内の森林は、全面積の約8割以上を有しておるわけございまして、森林資源は糸魚川にとっても、非常に貴重な資源だといふふうに認識しておりますし、また戦後、植林をされました杉等が、人工林が伐期を迎えているときでございます。これは、日本全国の問題でございますけれども、木材の自給率を高めるためにも、今、伐期を迎えている材をどのように利用していくかという状況に直面しておるところございまして、当市も同様でございます。森林組合が中心となりまして、各林家が5年ないし6年の長期の森林経営計画をつくりまして、今、森林組合が中心となって、森林の施業に取り組んでいるというところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

伐期に入っているということでございますが、やはり海の自然は山にあると、こう先ほどもお話しさせていただいたと思いますが、ぜひ、森林のほうにも目を向けていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

もう1点お聞きしますが、食物連鎖という言葉をお話をいたしました、食物連鎖で発生状況、これはどのようにかわりがあるかご理解されてるか、いま一度、確認いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

食物連鎖の定義でありますけれども、生物群集内での生物の捕食、これは食べる、それから被食、食べられるという点に着目した、それぞれの生物群集における生物種間の関係をあらわす概念だといふふうに認識しております。それらが、当市の沿岸海域でどのように発生しているかは、調査をしておりませんので承知はしておりませんが、つい先日なんですけれども、漁協のほうから話をいただきました。サルパというホヤの仲間なんですけれども、このサルパという動物プランクトンのホヤの仲間でありますけれども、これが発生し始めているといふふうなお話もお聞きしておるところであります。大型のクラゲとはまた違うんですけれども、そのようなものが発生しているということ

は、最近、上越漁協のほうからもお話をお聞きしておるところでございます、その影響についても、追跡調査をしてみたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、時代とともに変わってきておりますので、近年中にひとつ海中調査もあわせて、やっていただきたいなと要望いたします。本当に、漁業は後継者等もまた問題であり、漁獲もとっていただかないと、私ら直接の身近にも大きく影響してまいります。この点も、あわせてお願いしたいと思っております。

続きまして、先ほどもちょっと、ジオラマの件でお話ししましたが、ジオラマについてちょっとお話をお聞きいたします。

糸魚川の沖合の海底状況は、極めて複雑変化で好漁場をしておるとお聞きしました。じゃ、どうということだということで、先日、海底ジオラマの模型が出てまいりました。これをもとにして、沿岸の沖合の漁場をいま一度、調査していただきたいなと、こういうことでお伺いしますがいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

海底ジオラマをつくられたというお話は、新聞でも報道されておまして、私も承知をいたしております。以前にも、市議会におきまして、海底地形図どうなんだというふうなご質問もあったかと思っております、その際に、海底地形図を購入いたしまして、市の沿岸海域の状況も見ておるところでございます。

今、ご質問のように、海底の状況を調査するべきでないかというふうなご質問でございますけども、富山トラフに急激に海が深くなっておまして、それが漁場が近く、豊富で多種多様な魚介類があるということから、好適な漁場であるというふうに認識しておりますし、そこからとられます新鮮・魚種が豊富な鮮魚というものは、糸魚川の地域資源の中でも非常に魅力がございますし、糸魚川を売り込む非常にいいインパクトになるものだというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、自然の売り込みには、大変糸魚川の必要性があると、私も認識しております。ぜひ、先ほども漁獲量をお聞きしましたが、これらに劣らぬ漁場でありますので、ひとつよろしく願いいたします。

若干、ジオラマにこだわるようございますが、先ほど言いましたように、糸魚川は山岳は3,000メートル、海拔は3,000メートル、6,000メートルも差があるこの自然豊かな自

然断層、これを生かす計画等はございませんでしょうか、お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

議員おっしゃられるとおり、プラスマイナス3,000メートルのダイナミックな地形が、まさに糸魚川の大きな魅力であります。

今、糸魚川駅の1階にありますジオパルでは、ご指摘の部分を明らかにしようということで、床面マップの中に、まさに3,000メートルプラス、そしてマイナスのほうはなかなか表現ができなくて、1,000メートルまでなんですけど表現しております。また、ジオパルの中では、糸魚川の海底地形や水深別に生息する魚などを紹介しております。いずれにしましても、こういったものの魅力を皆さんに紹介する中で、日本の中で糸魚川にしかないもの、そういったものを売り込んでまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、それも参考に進めていただきたいと思います。先般も、海底ジオラマのモデルをつくっていただいたわけですので、それをもとにしながら、ひとつ進めていただきたいと思います。なかなか、先ほど市長答弁では考えもんだということもお聞きしたんですが、やはり糸魚川の魅力、糸魚川の観光としても必要不可欠でないかなと思いますので、あわせてご検討いただきたいと思います。それから、やはりこのジオラマにおきましても、誰が見てもわかる、形のあるものが一番いいんじゃないかなと思いますので、観光としてもひとつご検討いただきたいと思います。

それから最後に、この糸魚川海底を生かした漁業・観光の施策を提言したいと思います。

一つ、日本海の魅力を観光開発していただきたい。

それから、地域密着型企業の育成。

それから3番目に、海底に合った漁具を開発。

4番目に、自然エネルギーの調査・開発を進めていただきたい。

こういうものを、今後提言させていただきたいと思いますが、この点についてご意見あればお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

ご質疑のうち1点目についてお答えします。

日本海の魅力の観光ということでありますが、いずれにしましても、日本海に一番近い駅ということで、北陸新幹線糸魚川駅が開業しました。こうした中で、日本海で何がとれる、食をどう生か



す、また、ここではこんなものがとれるということで、糸魚川の特徴をあらわすといったことを売りにしながら、ぜひ多くの皆さんにお越しいただけるような取り組みを進めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

地域密着型企業家の育成、それから、海底に合った漁具の開発というふうなご提言をいただきました。

市内の漁業の皆さんの平均年齢は40歳以下で、約30%。これは、県内のトップでございます。40歳以下の人数が54人になります。これは、2013年のセンサスの数字でございますけれども、それから、65歳以上が53人ということですので、ほぼ同数ぐらい。これは、県内でも非常に平均年齢が低いということでございますので、今後の糸魚川の水産業を営んでいく上では、非常に若手の皆さんが多くおられるということでございますので、先ほどから、海洋高校の話もございましたけども、高校生のアイデアもいただきながら、地域密着型の企業家の育成ということも考えていかなきゃならないというふうに考えておりますし、海底に合った漁具の開発というものは、今後の検討課題とさせていただきます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

海底の資源エネルギーの開発ということでございますけども、今現在、国のほうで日本海側のメタンハイドレートの関係で調査を行っております。市といたしましても、これらの情報を得ながら、研究してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

一言、助言をいただきましてありがとうございます。ぜひ、これらを見据えた中で、ひとつご検討いただきたいと思います。今後また、それらを見た中で、私もお聞きしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、2番目の質問に入らせていただきたいと思います。

先ほど、冒頭で市長答弁がありましたので、詳細について若干お聞きしたいと思います。

1年間のアンケート結果はまだないと思いますが、お聞きしたんですが、まだよろしくない、景気が見えてこない、こういうことを言われるんですが、じゃ、いつごろそれが見えてくると思いますか、ご意見をお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

景況アンケート調査の後期につきましては、今、経団連のほうでアンケート回収をしまして、今、分析中でございますので、近いうちに公表になるというふうに考えております。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

じゃ、早急に調査を進めていただきたいと思います。

続きまして、開業してから、国内外から訪れる観光客数はどれくらい伸びているか。また、数値的にわかれば、お願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えいたします。

4月から9月までの観光入込み客数でありますけども、去年に比べまして132%ということで、3割ほどふえております。ただ、この中にジオパルの数字が入ってきますので、もし、ジオパルを除くと16%増という数字になっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ちょっと、予想より伸びが悪いなと思っております。ぜひ、それについて検証をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。じゃ、具体的にとなるわけですが、それは後ほどにさせていただきたいと思います。

やはり、町をつくるためには、今現在、進めておる地方創生のまちづくり、産官学が一緒になって進めていかないと、まちづくりが実行できないと思いますが、これを行政側としては、糸魚川の地方創生まちづくりというのは、商店街というのは、どこが主体になってやっておるのでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

開業前からずっと、イベント等を実施しているところでありまして、大きなイベントにつきましては、実行委員会を設置しまして行っております。実行委員会の中には商工団体・観光協会・

区長会、あるいは商店街・交通事業者といった皆さんのご協力、またご意見を踏まえる中で、事業実施をさせていただいているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

続きまして、市街地の状況が、どうしても空洞化したように見えてまいります。やはり住民の高齢化、郊外の大型店舗等で機能が大きく変化しているのはわかります。しかし、今後、まちづくりを見直すためには、やっぱりコンパクトシティ化をしていかなきゃならないと思いますが、この考えはどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤隆一君登壇〕

産業部長（齊藤隆一君）

吉川議員からの、コンパクトシティ化に向けた動きが必要ではないかという質問であります。

コンパクトシティを、今すぐ導入するとかという問題ではなくて、やはり今、商店街のご質問から派生された件ではないかというふうに受けとめております。既存の商店街が、やはり本気を出して、自分たちの商店街をどうしていったらいいかというところから、やはり話はスタートするということでありまして、単に機能を集積させるということだけを念頭に置いて、まちづくりは進めるものではないというふうにも考えております。よって、もちろん商店街だけの問題ではなくて、商店街を利用する方の意識も、当然あるわけありますので、その辺の全体のまちづくりということを考える中で、そういった、また選択肢も出てくるのではないかなというふうに受けとめております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

具体的にちょっとお聞きしますが、新幹線の開業前に比べ、商店街、駅北に流れる客の流れ、どのように流れ、経済効果が出てくるのかお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

経団連が実施しました前期景況アンケートの中におきましては、北陸新幹線開業効果は、まだ見えずというふうな結果が出てきておりますけども、卸・小売・サービス業では、約1割の事業所で、お客様、また取引先がふえたというふうなご回答もいただいております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

次に、ジオステーションについて、ちょっとお伺いいたします。

全国に数少ないジオパルであるとお聞きしますが、稼働率がどのようになって、またその管理として、観光協会が進めて管理されてると思いますが、運営状況をお聞きしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ジオパルにつきましては、去年 2 月にオープンして以来、今、40 万人近くのお客様がお越しいただいているところでございます。

運営につきましては、観光協会にお願いをしているところでありますけども、平日は事務局職員に案内所の職員、そしてジオラマに 2 名の職員ということで、およそ 8 名ぐらいの職員の中で運営をしております。土・日につきましては、観光案内所の職員とジオラマの職員、あわせて 3 名の体制の中で、今、運営をさせていただいているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

関連してお聞きしますが、観光協会担当と思いますが、観光客の案内人の誘客案内に無理はないのでしょうか。なぜかといいますと、ある休日に行きましたら、1 人で長時間勤務しておりました。これじゃ、ちょっと対応がまずいんじゃないかなと、私ながら感じてきたんですが、これをやはり、見直していただければと思いますが、交代制にしたらどうかと思うんですが、この点についてお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

開業当初は、1 名ということでやらせていただいておりますが、かなり多くのお客様からお越しいただけるということで、ジオラマの職員 2 名も含める中で、ローテーションといいますか、忙しいときにはジオラマの職員も対応するというので、1 名体制から常時 3 名がお客様の状況に応じて対応をしているという状況であります。また、事務局職員につきましても、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始やイベント時期など、来客の多いときには、増員して対応するなど、お客様の数に応じた対応に努めているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

関連してお聞きします。

この案内人について、外国人観光案内として通訳はどのようにされておりますか。通訳案内人等  
はございますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

外国人対応につきましては、基本的には3名の案内人が動いているわけなんです、その職員が、  
初めのころにはよちよち歩きでしたが、今現在、少し片言ではありますけども、通じるような体制  
をしております。

ただ、一方でなかなかうまく通じないといった場合に応じましては、うちの市役所の中に外国人  
対応をできる職員がおりますので、スカイプやあるいは電話等での対応、また、土・日につきまし  
ては、東京に外国語の通訳をフォローできるような体制をつくっておりますので、その対応をして  
おります。

ただ、今後、インバウンドがふえてくるといった状況が生じる場合は、外国語を話すことのでき  
る職員の採用等についても考えていかなければならないと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

よろしくお願ひします。やはり、どんどんとインバウンド、外国人が見えられると思います。そ  
の対応をひとつ、よろしくお願ひします。

続きまして、現在、市内にはまちづくりサポーターズの皆さんからご活躍をいただいております。  
ことし10周年を迎えられたということでございますので、今後、地方創生戦略として、ぜひ、こ  
の方にも連携をとっていただいご協力をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

それから、駅北と駅南の商店街のまちづくり、これについて、行政上は今後どのような連携を取  
り合うかお伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

新幹線の糸魚川駅が開業いたしまして、街の中の交通の流れが大きく変化をしてきてる状況がご  
ざいます。そういう状況を受けまして、街の交通網も含めまして、街のあり方全体をどのようにし  
ていったらいいかということについて、今後、庁内で検討を進めていきたいというふうに、今、考

えておるところでございます。

議長（倉又 稔君）

吉川議員の一般質問の途中ではありますが、昼食時限のためここで暫時休憩をいたします。

午後0時01分 休憩

午後0時01分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を開きます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

以上で、一般質問を終わります。

議長（倉又 稔君）

以上で吉川議員の質問が終わりました。

それでは昼食時限のため、ここで暫時休憩をいたします。

失礼いたしました。まだ少し時間がありますので、関連質問がございましたらお聞きします。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

昼食時限のため、ここで暫時休憩をいたします。

午後0時02分 休憩

午後1時00分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田原議員。〔13番 田原 実君登壇〕

13番（田原 実君）

糸魚川21クラブの田原 実です。

相馬御風先生の顕彰について、通告書に基づき、質問をし提言してまいります。

御風先生と申し上げるべきところを、御風と表現するかもしれませんがお許してください。